

あから

第23号
平成19年3月8日
発行
ながら会会報編集委員会
題字
宮田 慶三郎

2006年度 ながら会総会 盛大に開催される

忘年会

恒例となった「ながら会総会忘年会」は、2006年12月21日(木)に岐阜市内の岐阜都ホテルにおいて大勢の参加者のもと、盛大に開催され、「大抽選会」などで大いに盛り上がった。



PART 2 あの店 この店

伝承美濃そば 吉照庵

小坂井紳介

皇太子様も来店されたこと有名な、岐阜随一の蕎麦処「伝承美濃そば・吉照庵」を紹介いたします。我が家では祖父から始まり四代に渡るお付き合いです。昨年10月にオーナー店である「日本料理・ひら井」店舗内へ移転しましたが、若女将の話によれば、今なお各界著名人の来店は頻繁とのこと。つなぎを一切使用しない「十割そば」等、比類ない「こだわりの」と「本物の味」を提供してくれる希有なお店だと思います。
(学長企画室 企画課)



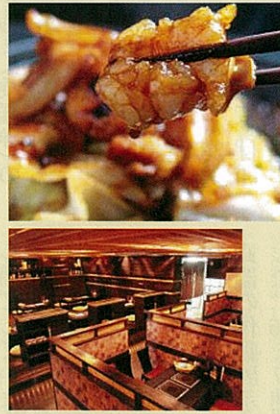
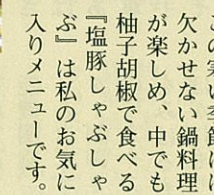
TEL 058-265-3608
〒500-8046
岐阜市米屋町24番地
営業時間:
11:00~15:00
17:00~20:00
定休日:毎週月曜日
駐車場:25台
アクセス:タクシー等では名鉄岐阜駅より約10分、バスではJR岐阜駅より長良橋・岐阜公園方面行き「伊奈波神社」下車徒歩5分

推奨メニュー

【お蕎麦(冷物)】せいろ(二段)900円、天ぶらせいろ(大海老・二段)1,800円、鴨せいろ(合鴨・葱・二段)1,450円 ほか
【お蕎麦(温物)】鴨南蛮(合鴨・葱)1,850円、天ぶらそば(大海老)1,800円、井ノ口そば(天ぶら・花鰯)1,300円 ほか
【季節そば】にしんそば(冬・春限定)1,450円、かぶらそば(冬季限定)1,350円、あゆそば(夏季限定)1,350円、松茸そば(夏季限定)1,350円
【その他のメニュー】そばがき[夜のみ]800円、そば寿司[夜のみ]850円、そば白玉ぜんざい400円、美濃地酒(燗付)美濃菊・福徳の心600円 ほか
【お土産】持ち帰りそば(五人前・そばつゆ付き)4,500円、自家製そば煎餅400円、自家製そば味噌500円、そば焼酎(八重桜・900ミリリットル)2,000円 ほか

遊喰房の蔵 柳ヶ瀬店

山本佳奈



遊喰房の蔵
豚風 柳ヶ瀬店
TEL:058-266-9100
岐阜市若宮町4-22
名店街ビル1階

私には岐阜市若宮町、高島屋から徒歩約3分の若宮通りにある「遊喰房の蔵 豚風(Ton-pun)」を紹介させていただきます。
「豚風」は焼いて食べて盛り上げられる鉄板料理のお店です。自分達で焼けるから、会話も弾んで楽しい時間を過ごすことができます。メニューは「とんちゃん焼き」や「鶏ちゃん焼き」、「とろろ豆腐ステーキ」から始まり、オリジナルの創作鉄板料理である「元祖みそトントキ」、「月見つねバーグなんこつ入り」、「ゴーヤチャンプル」、「テリヤキチキンのクレープ包み」などがあります。またお好みでチーズやもち、焼きそばなどのトッピングもできるためどれもおすすめです。そしてなにより、この寒い季節には欠かせない鍋料理が楽しめる、中でも柚子胡椒で食べる「塩豚しゃぶしゃぶ」は私のお気に入りメニューです。

私が行ったときのコース料理

- 前菜 5種
- サラダ 手作りポテトサラダ
- 鉄板料理 串揚げ又はその他揚げ物
- 鍋料理 エリンギのバターソテー
- 豚料理 豚キムチorモツ鍋 or 塩豚しゃぶしゃぶ(どれか1種)
- お食事 塩にこだわったおにぎり
- デザート ライチシャーベット

鉄板料理……450円、850円
創作鉄板料理……650円、1,500円
鍋料理……2,000円、2,500円
(1~8人前)

気になる店内の雰囲気ですが、木目を基調としたシック&カジュアルな雰囲気、個室風に仕切られたテーブル席があるため、カップルや女性にも最適です。またお座敷もあり、全席掘りごたつで宴会でも少人数の飲み会でもゆったりリラックスして過ごせると思います。そして無料送迎付コース(3,700円前後)があり、飲みたい方も満足できること間違いなしです。ぜひ、皆さんも1度出かけてみてはいかがでしょうか。
(村上記念病院 リハビリテーション室)

編集後記

皆様のお陰をもちまして、ここに「ながら会会報(第23号)」を発行することができました。編集委員を代表してお礼申し上げます。
現在一千名余りの会員数を擁する「ながら会」は、所属部門を越えて私達を結ぶ大きな「ネットワーク」になっています。また、そのネットワークとしての役割を果たしています。知識社会と言われる今日、「知識」の重要性が再認識されています。知識は、言葉や文章で表現される知識としての「形式知」だけでなく、体験を通じて会得される経験的な知識としての「暗黙知」を含む概念として幅広く論じられています。暗黙知には、信頼や安心感といった感覚的な知も含まれます。こうした知識は私達各個々人の生活を豊かにしてくれると同時に、企業をはじめさまざまな組織においては、貴重な資産として見なされ、知識の創出・活用・蓄積が急務の課題とされています。暗黙知は「ながら会」を通じて知識、特に暗黙知を持ち寄り、共同体によって知識を共有し、さらに相互啓発によって新たな知識を創造することができると。そうした知識は、相互の信頼関係を育むとともに、「ながら会会報」によって形式知に変換され、組織の知識資産として蓄積されています。
私達を結ぶネットワークとして、また知識を創造する場としての「ながら会」の益々の発展と「ながら会会報」のより一層の充実を祈念し、結びとさせていただきます。
(荒深記)

〈編集委員構成〉
荒深友良(経営学部経営組織論)、田村康夫(歯学部小児歯科学分野)、遠藤隆幸(法学部民法、都尾元宣(歯学部歯科補綴学分野)、大橋たみえ(歯学部社会口腔保健学分野)、土田由佳(附属病院看護部、西部尚美(附属病院歯科衛生部)、東いづ江(村上記念病院看護部)、加藤祐司(村上記念病院管理課)、井川希村(村上記念病院医事課)、高木基博(総務部総務課、小坂井紳介(学長企画室企画課)、久世仁美(学事部学生厚生課)、菱田亮平(歯学部事務部歯学部事務課)、安田聖司(歯科臨床研究部事務室)、南方千恵美(歯科衛生士専門学校)

新入会員所感

はじめまして
西 善也

2006年4月より、法学部にて英語を担当させていただいております。本学にお世話になります前は、実家がございいます京都を中心に、近隣の大阪、滋賀の大学や専門学校等にて英語・英会話の非常勤講師をいたしておりました。この春、本学に着任したと同時に住み慣れた関西を離れて、岐阜に越して参りました。からもう1年近くになります。が、ようやく岐阜での生活に慣れてきた感じがいたします。

よろしくお願ひします

山田昇司

また、大学業務におきましても、着任当初は専任講師として大学の教育、教務に携わった経験が全く無く、本学が初めてということもありまして、何かと戸惑うことも多々ございましたが、法学部・経営学部・歯学部等の諸先生方をはじめ大学職員の皆様方の温かい励ましとご指導を賜り、少しずつではございますが、こちらの方もようやく慣れてきたと思えるようになりました。

新任の慌ただしさもおかげさまで落ち着き、本学の校風を肌で感じられるようになって参りました。とは申しませんが、自身すらぬ点が未だ多くあることも同時に感じてお

ります。これら自身の至らぬ点を改善し、本学の一員として大学に貢献できますよう今後とも日々の努力を惜しまず、教育、教務、そして自身の研究活動に励む所存でございます。諸先生方そして大学職員の皆様方にはご面倒をおかけしますが、今後とも何卒ご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

(法学部 英語)

食わず(やらす)嫌い

式守道夫

卒業後は名古屋、浜松、佐賀で勤務した。佐賀で当直を決めていた時に、はずしてほしい日を指定された。夕方、その日に医局主催ゴルフ大会(?)があると言われた。以前からはやらなかつたが、以前から助教はゴルフをする

ことに決まっていたと言われた。道具がないというとなぜか手際よく夕方使用痕のあるクラブが届き、靴の準備をと言われた。その夜打ちっ放しに連れて行かれ、話が出てから数時間後にはレッスン開始。ボールに当たると、球は右へ右へ急カーブ。クラブに当たるんじゃないかと褒められて(?)練習終了。練習場が自宅から100mの不幸?もあり、特訓指令。早朝6時から仕事後10時過ぎからのわずかな練習で、8日後にはティーグラウンドに立つ。ダース単位の球を使用した。ルール知らずでペナルティも戴き、ボロ

ボロでクラブハウスに帰還。わずかにちゃんと飛ぶ打球があり、その快感でゴルフの面白さに目覚め、岐阜でも時間をなんとか見つけては練習場には通っているが、...

習慣付いている生活で、新しいことを始めるのは大変?かもしれない。そのためには、上手な先輩に教わることも必要で、コーチなどの助言に耳を傾けるなど、新鮮な気分での新しい課題を学習できる良い経験となった。一言で言えば「はまった」、かな。

新しいテーマを急に与えられることがあるかもしれない。食わず嫌いでは損をする。これからも、新しい経験ができることを楽しみにしている。本会の益々のご発展を祈念申し上げます。

(歯学部 口腔外科学分野)

につける事ができました。しかし、まだまだ歯科衛生士としての経験も浅く知識も少ないので、何事にも積極的に挑戦していこうと思っております。

これからのご迷惑をおかけすると思いますが、歯科衛生士として、また、社会人として、日々成長できるよう頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくご指導をお願いいたします。

(附属病院 歯科衛生部)

よろしくお願ひします

石澤錠二

2006年4月に、朝日大学歯学部附属村上記念病院脳神経外科に着任し、すでに半年が過ぎました。安藤院長、郭教授と岐阜のみならず全国的にも有名な脳神経外科医のもとで働けることに喜びを感じております。また、病院も大きすぎず小さすぎず、アットホームな感じで、とても楽しく仕事をさせてくださいたいと思っております。

近年、脳外科領域においても、より低侵襲な手術が要求され、従来の開頭による手術に代わり、血管の中からの治療する手技が多くなってきています。その点、当院は郭教授が血管内治療の第一人者であり、日本脳神経血管内治療学会指導医の一人であり、また、私も含め2人の専門医が勤務しています。また、歴史が浅く、専門医も少数である現状

から考えると、全国的にみても、非常に充実した施設であると思えます。今後もこの恵まれた環境を十分に生かし、全国的にもトップクラスの脳神経外科施設に出来るように努力していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

(歯学部 外科学分野)

はじめまして

猿渡美麗

はじめまして。私は、2006年5月から朝日大学歯学部附属村上記念病院総合健診センターに配属になりました猿渡美麗と申します。

学生から社会人になり、当初はわからないことが多く、戸惑いと不安な気持ちでした。しかし、先輩方の親切なお言葉やアドバイスをいただき、少しずつ職場にも仕事にも慣れていくことができました。まだ経験も浅く、知識も少ない私ですが、受診していただく方への気配りや思いやりを心がけ、社会人としての責任感を持ちがなばりたいと思っております。

私の趣味は岩盤浴に行くことです。体の中の毒素が出て新陳代謝を高める効果があり、すっきりとした気持ちになります。こんな私ですが、健康について色々勉強しながら、精一杯がんばりますので、ご指導よろしくお願ひいたします。(村上記念病院 医事一課 総合健診センター)

ながら会 同好会 だより

ゴルフ同好会



卓球同好会



梅雨前線が停滞している中、天候を心配していましたが、参加者の日頃の心がけで、5分〜10分くらいの小雨はありましたが、曇り空のもと、会長から「雨が心配ですが、水分をタップリ摂って熱中症に気をつけ、表彰式での結果を楽しみに頑張ってください。しかし、決して無理をしないよう無事にラウンドを終えてください。」とのあいさつ。ルール等の説明後、竹内会長がドロ系のスモークボールをナイスショット。いよいよ各組が意気揚々とスタートしました。

各ホールから、例年の如く勤務中では想像ができない大きな声、黄色い声、悲惨な声や機敏な動き?等々の言動が多々見られ、隠れた一面を垣間見ることができました。また、コースパトロー員から、「もう少しスピードを上げてプレイしてください...!」と注意がありました。特に気にもせず全員無事にラウンドを終え、入浴で汗を流した後、胸をドキドキさせな

がら表彰式会場へ向かいまして。さて、表彰式会場では、軽食とドリンク、自慢話等々で会話が弾んでいる中、順位表が配布された。全員が一瞬釘づけになり、微妙な沈黙の後、「オウッ!...!!!」と喚声が上がりました。成績等は、次のとおり。

- ◆ 実施日 2006年7月23日(日)
- ◆ 場所 やまがたゴルフ倶楽部 美山コース
- ◆ 成績
- ◆ 優勝 北村雅史(事務局)
- ◆ 2位 大森俊和(歯学部)
- ◆ 3位 國澤英雄(経営学部)



【連絡先】
北村雅史
(事務局)
就職・課外活動支援課

第29回ながら会卓球大会は、2006年3月11日(土)にAUクラブハウス卓球場において開催されました。今年はいよいよ残念ながら参加チームが少なく、総務課・施設課の職員を中心とした「総務チーム」、学生厚生課・就職・課外活動支援課の職員を中心とした「学生支援チーム」、歯学部

教員と事務職員の「混成チーム」の3チームでした。これはこれまでで一番少ない参加数で、少し寂しさも覚えました。今回は業務や家事の都合、急な体調不良等で、やむなく参加を諦めた会員も多かったようです。しかし、聞き及んだところでは、法学部や経営学部の中にも参

加を希望されていた教員がみえたようですので、次回はぜひとも大勢の参加があり、盛会に成ることを希望します。一方、試合の方は、参加者が少なかった分中身の濃いものとなり、全ての対戦が2勝1敗あるいは1勝2敗と言う大接戦で、フルセットまでもつれた試合も多く、白熱した試合の連続でした。最後に、当日の準備・後片付けおよび審判等に協力してくれた卓球部の学生諸君にお礼を言いたいと思

- ◆ 試合結果
- ◆ 優勝 総務チーム
- ◆ 準優勝 混成チーム
- ◆ 3位 学生支援チーム



【連絡先】
中嶋正人
(歯学部 歯科保存学分野)
河合智親
(歯学部 学生厚生課)
【文責】
大岡泰博
(歯学部 学生厚生課)

スキー同好会

スキー同好会は、1月20日(土)〜21日(日)に恒例になりつつある1泊2日温泉付きツアーをスノーボード同好会とともに楽しみました。昼過ぎに大学を出て、ナイタースキーが楽しめ、

また、小グループの自家用車ツアーではあまり行かないところにポイントをおきツアー先を厳選したチャオ御岳スキー場です。今年は暖冬が懸念されていたので、例年雪の多い、このス



スキー場にしてよかったなどとバスのなかでわいわいがやがやとさわぎながらまじ杯を上げました。宿に到着後、夕食、温泉を楽しみ、ナイターに行く者、明日に備えてワックスを調整する者など雪山のひとつときを過ぎました。

幸い、雪にも恵まれ、20人以上の参加者の方々にも、スキー、楽しいお酒と仕事を離れた会員相互の語らいを満喫していただけたようです。中には、ゲレンデは二の次で朝湯・朝酒に溺れていた方もいらつしたととか。

来年も同様のツアーを企画する予定です。スキーを愛好される多くのながら会員の皆様のご参加をお待ちしています。もちろん初心者の方々も大歓迎です。

【連絡先】

磯崎篤則
(歯学部 社会口腔保健学分野)
住友伸一郎
(歯学部 口腔外科学分野)

囲碁・将棋同好会

第23回中部地区大学教職員囲碁大会が日本棋院中部総本部(名古屋)で2006年7月2日(日)に開催されました。この大会への参加は囲碁・将棋同好会の一年間行事の最大のイベントで、ほぼ毎年(16年間)参加し他大学との親睦を深めてきました。2006年度は朝日大学が幹事校で、近年参加校の減少の折大会の開催自体を危惧していましたが、チーム人数等の改変を行った結果、例年にも増して盛況の内に大会を催す事ができました。



今大会に我が朝日大学は三連覇を目指し精鋭で望みましたが、残念ながらハンディ戦三位の入賞に留まりました。しかし、無差別戦ではこれまでは参加はしては完敗でしたが、本年度は何回かの勝利を得た事が大きな収穫でした。

読み考える事が最終的に勝利に結びつきます。それ故、奥が深く脳トレ・トレーニングにもなり、これが仕事の場でも生かされたり、脳の老化防止に役立つのではと思えます。

【連絡先】

足立正徳
(歯学部 歯科理工学分野)

釣り同好会

今年も解禁以来、溪流釣り大会を意欲的に行ってきた。その皮切りは、4月某日の揖斐川水系の坂内川支流浅又川と西谷川への釣行であった。やっと明け初めた浅又川は、未だ雪が少々残り、水は切れるような冷たさであった。しかし、溪相良く、水温に反比例して釣果があった。当日の本命は西谷であったので、後髪を引かれながらも転進、昼過ぎに、旧門入の村はずれの大堰堤から溪に降り立った。溪相は更に良く、期待も更に膨らんだ。しかし、当日は期待だけに終わった。



これでは辛抱できないので、5月某日、再度挑戦ということにした。今回は林道を片道2時間ばかりかけて源流域の長者平迄歩き通した。林道は崩落や何やかやで、歩行は辛かったが、至る所に咲き乱れるタニウツギと、芳香を放つササユリの花、そして目の前に展開する残雪の烏帽子山、三周岳、美濃俣丸の山々の景観がその辛さを半減させてくれた。林道から山腹を半ば滑り落ちて溪に立ち、いそいそと支度を整え、待望の第一投を呉れると、すぐにイワナの魚信があつて、早くも至福の境地に陥ってしまう始末であった。ところが、好事魔多しの例え通り、遡行して行くうちにすぐに通ラズになつてしまい、それでは釣り下つてもやはり同じようなことであつた。帰途、刈り取ったササユリは、一週間ほど家中を品のある芳香で包み、大いに心癒された。

さて、9月の某日、近頃恒例の理事長を交えての釣り大会を開いた。大漁を期待しての前夜祭で、当日、かなりの二日酔に陥ってしまった。そこで運転は赤石副学長に代わってもらい、宮田淳先生同乗で目的地の板取川の川浦溪谷に向かった。すでに3回釣果を確かめておいたので自信はあつたが、今回が初参加の淳先生が第一尾をものにすればは若干の不安があつた。その第一尾はすぐに来た。それどころか、すぐに川に慣れてしまい、単独でどんな場所を変えていくほどにまでなつた。理事長と赤石副学長はすでに一人前の溪流釣り師の風格を備え、マイペースの釣りを楽しんでおられたと見た。

10月某日、趣向を全く変えて、今度は小浜沖のヒラメとキジハタ(アコウ)釣りを目論んだ。快晴に恵まれ、波静かで、絶好の釣り日よりならぬ酒日よりであつ



た。仕掛けを投入するなり、早くも缶ビールを空け、すぐに酩酊してしまい、折角の大物のアタリも全てタイミングをはずしてしまった。酔いも若干醒めた午後には、気を取り直して釣ったアジはこれまでの40数年の人生の中で最も美味であつた。ことほど左様に、釣り同好会は、片や山深くイワナを求め、片や海深く高級魚を探っている。来期は、40センチオーバーの溪流魚と、メータークラスのタイやヒラメ、あるいはワラサ、ブリのどれかを釣りあげて、ここに報告するのを待っていたきたい。

【連絡先】
竹内 宏
(歯学部 口腔病理学分野)

自然に親しむ会

2006年7月15日から7月17日、総勢14名の会員と朝日大学レイク・ハマナコテージで夏季キャンプを行った。薄曇り空が回復してきつつあるなか、合計3台の車に分乗して目的地に向かった。途中のスーパーマーケットで食料を買い出し、夕食のバーベキューの仕度を済ませた。ハマナコテージの施設はとても素晴らしく、浜名湖近隣の自然を満喫できた。

へ行くことになった。芦ノ湖スカイラインから箱根町方面へ向かい、湖の周回道路を通って、観光船「海賊船」の船着き場を探した。湖上船に乗るなんて、久しぶりなことを思い出した。夕暮れの芦ノ湖は絶景だった。帰路、日が沈み時間が経つとともに渋滞は緩和した。仲間と行くキャンプはどんな状況でも楽しいものである。

【連絡先】
柏俣正典
(歯学部 歯科薬理学分野)



翌朝、早起きして日本一の山、富士山へと向かった。東名高速を東へ進んで行くのと、やがて車が渋滞してきた。夏の連休の真っ直中だからだ。そのうち渋滞の状況はさらに悪化していった。車のラジオでは富士スバルラインの大渋滞のニュースが流れ、われわれは富士山行きを断念せざるを得なかった。インターチェンジを早々に降り、われわれは芦ノ湖

11月3日文化の日、歯周病科の医員が幹事で、PDIテニスコートにおいて親善試合を開催しました。当日は11月とは思えないほどの



照りで、疲れも倍増といった日和でした。連休中にもかかわらず、歯周病科、保存科、補綴科、矯正科の医員16名が参加し8チームで



ダブルスの試合を行いました。11時開始で、2時間半。試合方式は2ブロックで総当りの予選を行い、上位チーム2チームずつが勝ち上がり、決勝トーナメントを行い、北後・水川(歯周)が優勝、渋谷・白木(歯周)、瀧田(補綴)・鈴木(矯正)の各選手が優秀な成績を収めました。終了後はおにぎり、オードブル、お茶で表彰式と懇親会、入賞者には優秀賞と参加者全員に参加賞を贈りました。大きな怪我や事故もなく、ただただ次の日の筋肉痛と日焼けの辛かったこと。練習会は不定期ですが(土曜午後)に時々、歯周病科が保存科の医員に声をかけてください。冬場のトレーニングを怠らず、次回開催にはより多くの会員のご参加をお待ちいたします。

ながら会エアロビクス同好会は、現在毎月2回、木曜日の午後6時半からAUCラブハウスの女子更衣室内スタジオにて活動しています。レッスンは、「ラジオ体操より簡単で効果的!初心者から慣れた方まで楽しく健康づくりをしよう!」という目標で、組み立てられています。世の中で大きな問題になっている生活習慣病の予防、運動不足解消やストレス解消にもってこい

この冬には明治乳業の協賛を得て「冬こそV.A.A.Mで脂肪燃焼!」と題してイベントも企画中です。皆さん是非ご参加ください。お待ちしております。

【連絡先】
大橋たみえ
(歯学部
社会口腔保健学分野)



平成5年4月に発足した本会は、発足当時の会員は15名でしたが、現在は28名の方が登録しておられます。発足当時のメンバーで8名が退職され、そのうち3名が名誉教授として、現在も作品展示にご協力いただいております。

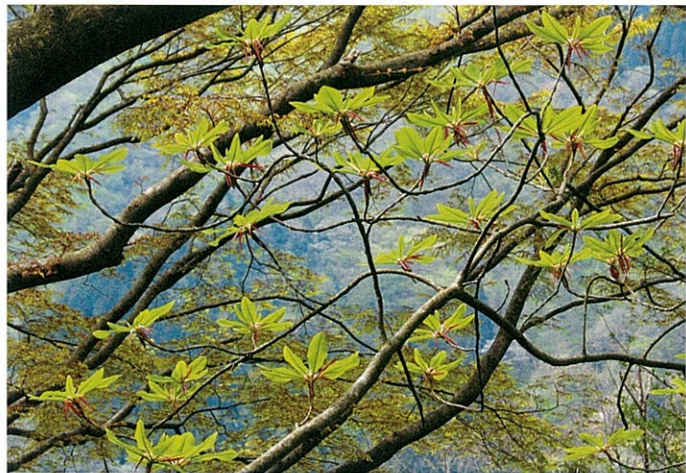
13年間に15回の作品展を開催してきましたが、第1回から第11回までは2号館17号館通路で展示し、以後、附属病院廊下にて展示することで、本学職員のみならず、患者さんにも見ていただける機会ができました。この他に2年前の秋から宮田理事長をはじめとする本会会員有志数名により、本学1号館2F、附属病院廊下、サンライズにて春夏秋冬の写真を展示しております。この季節写真も好評であり、延べ21点を患

者さんに実費にてお譲りいたしました。

近年、デジタルカメラが主流となりましたが、カメラ購入時の条件として画素数が問題になります。展示写真のように大きなサイズの写真は、高画素であることが画質的に有利であることに間違いありません。しかし、写真の善し悪しは、作品と観賞距離との関係で、高画質だけに拘るものではないと思います。廊下を歩いていて、ふと振り返りたくなる写真。これこそ展示写真の骨頂であると思います。

皆様も心に残る写真をお持ちかと思えます。気軽に本会に入会していただき、多くの方々に写真を観ていただける様に、ご協力いただければありがたいと思います。

菱田 健治 (事務局長)



竹内 宏 (歯学部教授)

宮田 侑 (理事長)



小笠原 昭 (監事)

【連絡先】

高井良招
(歯学部 高齢者歯科学分野)
梅原則明
(口腔科学共同研究所
写真室)

カラオケ同好会

カラオケ同好会では例年、新年会を兼ねたカラオケ練習会を開催しております。昨年度は2月7日に、コリドールにおいて開催



たしました。学内の様々な部署から15名程度の参加者を迎え、それぞれがフォークソングから最新のニューミュージック、そして、少し

前のヒット曲と得意な持ち歌を披露し、おおいに日ごろのストレスを発散されてきました。参加してくださる皆様にとってはカラオケを歌うことはもとより、部署が離れているために普段あまり話す機会のない会員の皆様との軽食を囲みながらのおしゃべりも、楽しみの一つのように、カラオケの順番を待つ間はあちらこちらで楽しそうな話し声も聞かれます。

今年度も新年会を兼ねてながらカラオケ練習会の開催を計画しております。幹事一同、多数の皆様参加をお待ちしております。

【連絡先】
住友伸一郎
（歯学部 口腔外科学分野）
山田小枝子
（歯科衛生士専門学校）

芸術鑑賞同好会

本同好会は今年発足10周年を迎えました。その間、絵画(洋画、日本画)、音楽(クラシック、邦楽、コーラス)、舞踊(バレエ、タンゴ)、歴史遺産、ミュージカル等数々の芸術を通して豊かな感性を培い、また会員相互の親睦も深めてきました。芸術鑑賞による非日常的時空の体験は、ちょっとした旅行感覚に加え芸術家という未知の人との出会いも提供してまいります。

本年度は、①合唱団「空よ」のコンサート(ソフトラピアン)、②肉筆浮世絵展「江戸の誘惑」(名古屋ポストン美術館)、③森公美子コンサート「モリクミのミュージカルを抱きしめて」(本東市民文化ホール)の鑑賞を企画しました。合唱団「空よ」の団員の中には本同好会の会員も数名加わっており、その素晴らしいハーモニーにとっても親近感を覚えました。浮世絵と言えは版画をイメージしますが、江戸時代の大名や豪商は歌麿、北斎、広重、師宣等に特別注文して描か

せた肉筆の浮世絵は、いわば世界に一点しかない貴重な芸術作品です。これら浮世絵は、米人医師のピゲロが明治初期に来日した際買い取り母国に持ち帰ったものですが、その後彼はそれらをそっくりポストン美術館に寄付したため保存状態も良好で、その色彩の鮮やかさと江戸文化の華やかさに心を奪われました(写真参照)。またモリクミコンサートでは、彼女の本来の澄み切ったソプラノの歌声に加え、笑いあり涙ありのトークに会場大いに盛り上がり上がっていました。これからも多分野の芸術に触れる機会をつくる予定です。



鳳凰図屏風 葛飾北斎(1835)

【連絡先】
小萱康徳
（歯学部 口腔解剖学分野）

スポーツ応援同好会

「健全な精神は健全な身体に宿る」という言葉は非常に有名であり、しばしばスポーツ大会の開会式で来賓の言葉にも引用されます。これをそのまま解釈すれば「体の悪い人は心も曲がっている」ということになり、とてつもないことになり、最初に用いた人がオリジナルの間違って解釈をしたものであることがよく知られています。

この言葉を最初に使ったのはローマの風刺詩人ユウエナリウスであり、「諷刺詩集」の中で「(神に)こう願うがよい。健全な身体に健全な心を宿らせてくれと。死の恐怖にも平然たる剛毅な精神を与えよ。私が諸君にすすめたものは、諸君が自分で自分と与え得るものなのだ。」と述べております。



義足でトライアスロンを完走した三重県前田良伸選手(70歳、長良川国際トライアスロン大会にて、2006.8.6)

朝日大学にはさまざまな年代、部署の方が勤務していらっしゃる。しかし異なる世代の方との交流を経験できる機会が少ないのではないのでしょうか。しかも勤務中の年代、部署を超えた交流ともなれば、さらに場面は限定されると思います。卓上では地位も年齢も区別なく、平等に勝利のチャンスが与えられています。勤務中それほど接点のない方でも卓を囲むと不思議に性格が理解できます。勝負に對する緊張がもたらすので、攻守のバランス、対局中の感情の起伏、打牌の緩急など普段

麻雀同好会

つまりこの言葉は断定ではなく、そうありたい、という願望でありました。この違いを知らずにこのことを引用すると大きな間違いを犯すことになり、一部の人が猛反対を受けることになりかねません。スポーツ応援同好会は「健全な精神はアルコ

ルから生まれる」とユウエナリウスもびつくりする勝手な解釈のもとに、スポーツ応援をした宴会を開くことが大好きな55名の会員から成ります。

【連絡先】
渡辺郁雄
（歯学部 内科学分野）

の姿からは想像できない一面が現れます。だからこそ対局者には他者に対する尊敬、マナーがとても重要だと考えています。麻雀同好会では会長の岩山副学長を中心に麻雀を通して異世代間の交流、人間形成をモットーに活動を行っています。活動内容は年一回の麻雀大会、不定期のオープン戦などです。麻雀に少しでも興味のある方、巧拙は問いませのでぜひお問い合わせください。

【連絡先】
松井孝介
（歯学部 歯科補綴学分野）

スノーボード同好会



去年発足したスノーボード同好会とスキー同好会合同にてスキー・スノーボードツアーを催しました。朝日大学、村上記念病院双方の職員に配慮し、1月の20、21日の土日を利用し企画しました。土曜の午後大学業務終了後に出発、貸し切りバスにてチャオ御岳スキー場へ一泊二日の行程とし、三十

余名の参加者がありました。暖冬と言われていたが幸い雪にも恵まれ、標高が高く雪質も良好、ゲレンデでは経験者は日頃の練習の成果を存分に発揮し、スノーボード初心者の方は少しでも上達出来るよう上級者から指導を受け、宿では美味しい食事を囲み大学・病院業務とは違う交流にもなりました。スノーボードを満喫し日頃の運動不足、ストレスの解消になり大変有意義な二日間でした。来年も今年同様にツアーを企画する予定です。経験者はもちろん、初心者の方は上級者が親切丁寧に指導いたしますので気軽に参加ください。ながら会会員の皆様多数ご参加お待ちしております。

【連絡先】
後藤洋一
（村上記念病院「ハビテーション室」）

海外研修随想

アラバマ大学バーミングハム校

朝井 康行

長期海外研修にてアメリカ南部アラバマ州バーミングハムにあるアラバマ大学バーミングハム校(UAB)微生物学講座に2005年8月から2006年8月までの1年間、妻とともに滞在させていただく機会を大学からいただきました。私の日本での主要な研究テーマである「菌周病原細菌に対する宿主応答」について、これまでと違ったアプローチで挑むことが目的でした。ラボにはアメリカ、メキシ

コ、中国、インド、バングラディッシュと様々な国からのスタッフが在籍し、まさに多民族国家であることを感じる事ができました。バーミングハムは、アラバマ州最大の都市です。20世紀初頭には鉄鋼業の中心として大発展を遂げましたが、その後の大不況により深刻な打撃を受けた町で、かつては人種差別のひどい町ともいわれていました。気候は1年を通して非常に温暖で、降雪はほとんどあ

りません。気さくで温厚な人が多く、見ず知らずの間柄でも目が会えばにっこり微笑み、「Hello! How are you?」とあいさつが普通に交わされる雰囲気には非常に好感がもてます。また、これはアラバマ州に限ったことではありませんが、エレベーターでは必ず女性(特に年配の方)の出入りを優先したり、後ろに人がいれば扉を開けて待つなどの配慮が子供ですら当たり前に行われるなど、見習わな



ければならない習慣が多くありました。

到着後1ヶ月間は、ソーシャルセキュリティナンバーの取得、アパート探し、自動車免許の取得、自家用車の購入などアメリカでの生活を始めるための準備でいろいろ苦労したことを思い出します。特にアパート探しでは、引っ越し当日にこれまで仮住まいしていた大学敷地内の寮を引き払い、契約していたアパートの事務所に着くと、2時間ほど待たされた揚げ句、その部屋がまだ工事中だから引っ越しは無理と言われ、片言の英語で散々交渉してやっと別の部屋を用意してもらったことがありました。交渉中に私が語気を荒げる場面もありましたが、対応したスタッフに「何でこの人は怒っているんだろ?」という態度をとられ、拍子抜けしたことを思い出します。このあたりは良い意味で解釈すれば、「おおらか」ということになるとは思いますが、日本の常識からは少し考え難い印象的な出来事でした。滞在期間中は、アパート近くにあるボールパークによく野球観戦に行きました。



ここはシカゴホワイトソックスのマイナーリーグに属するバーミングハム・パロイズというチームのホーム球場になります。以前はNBA出身のアメリカの国民的スターであるマイケル・ジョーダンが所属したことで有名になったこともあるチームです。現地の人々は、このチームを東立ってメジャーリーグに昇格していった選手を誇りに感じているそうです。アメリカでは、野球が生活に密着した身近な存在であり、「我々の野球チーム」という雰囲気も強く感じられました。私にとってアメリカでの1年間は、多くの経験を通して日本を再認識できた非常に有意義なものでした。また最後に、私が不在の間、様々な教室業務を分担していただいた教室スタッフの皆様がこの場を借りて厚く御礼申し上げます。(菌学部 口腔微生物学分野)

私の趣味 My Hobby 趣味

ジグソーパズル

中垣 勝臣

趣味というほどのものではないが、小さい頃からジグソーパズルを組み立てるのが好きだった。

最初の「大作」は、知育パズルと呼ばれる四分冊になった日本地図。まだ保育園か小学校低学年のことだ。県単位でピースになっており、これで県名や位置、県庁所在地を覚えた。おかげで、年月を経た今でもシルエットで県名が分かる。優れものである。

二番目の大作は十八歳のとき。当時最大級だった五一四六ピースの「パベルの塔」(ブリュッゲル画)だ。今思えば随分暇な時間があつたものだ。完成までに三ヶ月位かかった。パベルに入れた実家の壁に十年くらい飾ってあったが、陽に焼け

色褪せて、家の改築の際に無断で処分されてしまった。残念。

仕事が煮詰まったり一段落したときなどは、無性に作りたくなる。最近好んで作るのは千ピース程度のものだ。サイズが手頃で、一〜二日で完成する。多少難しくても箱を開けると出来るまで寝食を忘れて没頭する。だが、最後のピースをはめた途端に興味が見失せる。同じものを二度は組み立てない。勿体無いようだが、この何も考えない時間が、時には必要なのだ。それでも図柄にはちよつとこだわる。海外でも気に入ったパズルに出会うと、スーツケースの余裕も考えずに購入してしまう。中世美術館(パリ)で購入した「貴婦人と一角獣」(同館所蔵の図柄、エール・フランス博物館(パリ)で見つけた一九三七年製同社宣伝ポスターの図柄、トゥールの玩具店で見つけたK・エリクソンのレトロポストカード「ブリュッフェ航空」の図柄、ブリュッジュのみやげ物屋

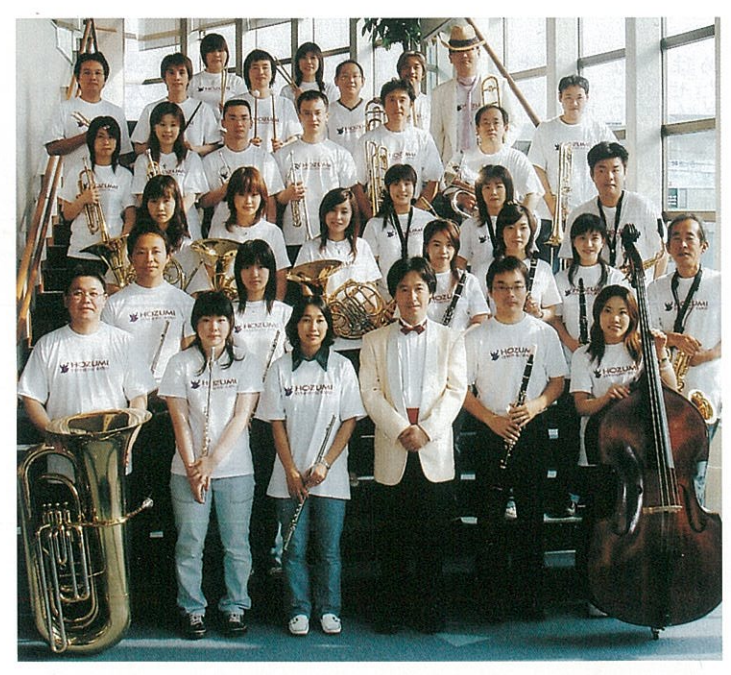


私とホルン

石川 友美

「ホルンって何?」これはよく私に問いかける質問です。ホルンというのは、オーケストラや吹奏楽で使われる金管楽器の一つで、かたむわりの殻のような丸い形をしています。私はこの楽器と10年の付き合いになります。中学に入学し、吹奏楽部に入った私は「ホルンってなんだかカッコいい!」とひと目ぼれをし、ホルンを吹き始めました。そして高校でホルンを続け、卒業後地元で吹奏楽団に入団しました。

吹奏楽の中でホルンというのはどちらかと言えばあまり目立つほうではありません。主役になることよりも脇役として主役を引き立てることが多いです。しかし吹奏楽というのはいろいろな楽器が様々な旋律を吹くことで一つの曲になるのです。ピアノなら一人で多くの音を出して曲を演奏することができませんが、管楽器は一人で一つの音しか出せません。そんな管楽器たちが一つに集まった時、ピアノ



とは比べものにならない程ダイナミックでかつ、美しい響きをつくり上げることが出来るのです。そんな吹奏楽に魅了され、私は今も続けているのだと思います。普段の練習では曲の練習だけでなく、基礎がしっかりしていないければいい音も出せないのです。基礎練習も行います。練習は決して楽なものではありません。厳しく注意を受けることもあります。しかし、コンサートを楽しみにしてください。方々がいるので、その方達

に喜んでもらえる様、一生懸命練習に励みます。そしてコンサート当日、聴きに來てくださった方から、「よかったよ!」と喜びの声を頂き、日々の苦労を忘れるくらい大きな喜びが得られるのです。美しい響きをつくり上げる仲間が私の宝であり、その仲間と奏でることは私の生きがいです。私にとってホルンとは生きていく上でなくてはならないものだと思います。(附属病院 歯科衛生部)

地元紹介

春のふじまつりと 秋のなまますまつり



安田聖司

僕の実家がある羽島市は、岐阜市の南に位置し、東の木曾川、西の長良川に挟まれた所です。高速道路のインターチェンジや新幹線の駅があるのに周辺が発展せず、パツとしない街になっていきます。市の南部は田園が多く、良く言えば「水と緑」に恵まれたおだやかな街という印象ですがどうでしょう。

ところで、現在の羽島市がある場所は、昔は愛知県(尾張国)の土地で、尾張国の葉栗郡と中島郡として管理されていたそうです。1586年(天正14年)に起きた大洪水によって木曾川の流路が変わってしまい、葉栗郡が二つに分かれ、岐阜県(美濃国)側を羽栗郡と改称、同時に美濃国へ編入されました。その後、18



さて、本題に戻りまして、羽島市は特に「ここはお勧めめ」というような観光スポットもない平凡な街なのですが、春と秋にちよつとしたイベントが開催されていますのでご紹介します。まず、春のちよつとしたイベント。市の中心部に竹

鼻別院というお寺があります。親鸞聖人が上洛の際、教を聞いて信者となった人が草庵を建てたのが起源といわれる古くからのお寺で、現在は保育園が隣接しています。このお寺には樹齢250年以上で県の天然記念物に指定されている藤の古木があり、4月下旬には薄紫色の花を咲かせます。また、この時期にあわせて祭りが開催され、茶席や屋台も出店されるため、「竹鼻まつり・ふじまつり」としてにぎわいを見せま



川や池でよく捕れたナマズをキャラクターにした町おこしのイベントです。メインとなるのはみこしコンクールで、ナマズを題材とした手づくりのアイデアみこしが商店街を練り歩き、優勝賞金五十万円を競います。他にも、ミスなまますまつりが登場したり、なます音頭が披露されたりと、とても奇妙な祭りとして羽島の秋を盛り上げます。毎年10月下旬に開催されますので、興味がいいた人はぜひお越しください。
(園科臨床研究所事務室)

だんじりまつり

私が生まれ育った大阪には様々なお祭りがあります。その中でも私が幼い頃から夢中になっていた「だんじり祭」について紹介していこうと思います。

約300年の歴史と伝統を誇る「岸和田だんじり祭」は、元禄16年(1703年)の時の岸和田藩主岡部長泰(おかべながやす)公が、京都伏見稲荷を城内三の丸に勧請し、米や麦、豆、あわやひえなどの5つの穀物がたくさん取れるように(五穀豊穡)祈願し、行った稲荷祭がその始まりと伝えられています。

「だんじり」と言えば誰もが岸和田のだんじり祭を想像すると思いますが、私の地元である大阪市にも「だんじり祭」があります。私が小学生の頃、両親に近くにある神社のお祭りに連れて行ってもらった時の事です。神社の鳥居をくぐると目の前に大きな木の塊が現れその中からは鐘や太鼓の音が聞こえ、その周りにはつぎ姿のお兄さん達が囲んでいました。するとその



赤木基浩

時、笛が鳴りその笛の合図ではつぎ姿のお兄さん達が走りだし、それと同時に大きな木の塊が動き出したので、それを見た私は「かわいい!」と思い父親に「これは何?」と聞くと、「だんじりや!」と教えてくれました。私はこの日から「だんじり」に夢中になり、自

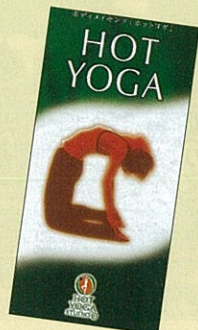


分もお兄さん達のようにはつぎを着てだんじりを曳きたいと思うようになりました。そして中学生になった私は友達を誘い一緒に神社へ「だんじり祭」に参加させてもらえるようお願いに行くと、快く受け入れてもらい青年団に入れてもらう事が出来ました。それから約12年間、今でも祭の日にはできるだけ大阪に帰るようにして、子供達や地域の方々に喜んでいただけるように、憧れていたはつぎを着てだんじりを曳いています。
(学事部 就職・課外活動 支援課)

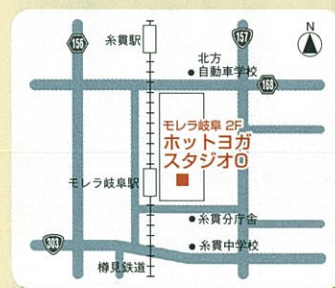
あの店 この店

ホットヨガ スタジオO

鷺見幸子



私は本東市のモレラ岐阜にある「ホットヨガ スタジオ O(オー)」を紹介いたします。「ホットヨガ」と言うだけあり温度38℃・湿度65%に室内は保たれており、その暖かいスタジオ内では60分または90分のヨガポーズを行うのです。筋肉が伸縮しやすくなり、体の硬い人でも無理なく安全に柔軟性が増してきます。また、温度と湿度のバランスから信じられないくらい大量の汗をかきます。初めて経験された方は、まずこの汗の量にびっくりすることでしょう。レッスン中にお水を飲みながらポーズをとる為、効率よく身体の水分循環が行われます。毛穴に詰まった汚れや老廃物を排出するので、今話題のデトックス効果があります。ハリウッド女優やモデルなどの間で大人気のエクササイズと聞くと興味をわきまませんか?こんな動機で始めた私も、今は週1~2回



モレラ岐阜店
TEL:058-324-8870
岐阜県本東市三橋1100
モレラ岐阜2F
●樽見鉄道
「モレラ岐阜」駅より
徒歩1分

DINING ROOM SPADDA!

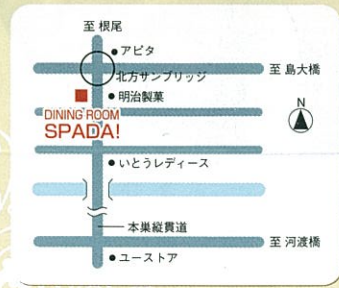
臼井智也

朝日大学から穂積縦貫道を北へ、アビタより少し南、縦貫道沿い西側に店を構えるSPADDA!はスタイリッシュかつシンブルなイタリアンレストラン。カフェのように落ち着いた雰囲気の中で、シェフ自慢のパスタをはじめ、様々な料理が存分に味わえる。有機野菜と、三重県は志摩湾直送の魚介類をふんだんに使った料理は、素材の良さをストレートに表現し、私たちの味覚を楽しませてくれる。レギュラーメニューのほかにも、それぞれの季節の食材を使用したシェフお勧め料理が用意さ

れている。色とりどりの料理は、味覚だけでなく、独創的な盛りつけで、私たちの目も楽しませてくれる。昼間の太陽が注ぎ込む、白とウッドで統一された店内では日替わりのパスタ、サラダ、パン、ドリンク、デザートなどのランチがお勧め(¥1,000)。夜にはオレンジで統一されたライトがやわらかく店内を包み込み、ゆつたりとした時間の中で食べることが出来るディナーコースを用意。前菜の盛り合わせ、サラダ、ビザ、パスタ、デザート、ドリンク(¥3,800、プラス500円)でピッツアもオーダー可)、二人でシェアして味わうことが出来る内容。力を抜いて、ゆつくりと料理を味わいに、一度足を運んでみては?



営業時間:
10:00~23:00
LUNCH 11:30~15:00
DINNER 18:00~23:00
〒501-0463
本東市小栢1044
TEL/FAX:
058-324-0550
定休日:火曜日



Take Me Out To The Fleet Review 2006

瓜明彦



10月29日(日)海上自衛隊の観艦式2006に行ってきました。観艦式の起源は古く、1341年にイングリッド王エドワード三世が英仏100年戦争(ジャンヌ・ダルクが出てくるヤツです)に自ら艦隊を率いて出撃する際にその威容を観閲したのが最初といわれています。現在の観艦式は自衛隊記念日行事として3年毎に総理大臣や防衛大臣の観閲を受けるとともに、国民に自衛隊への理解・信頼を深めてもらうために行われます。その人気は高く、よほど運が良いか自衛隊・防衛省関係に知り合いがい

ないとかチケット(乗艦券)の入手はかなり困難な状況となつていきます。前夜からの雨がしとしと降る中、まだ薄暗い受付開始30分前に横浜瑞穂ふ頭入口に到着するとすでに20人ほどが並んでおり、受付開始の7時には列の最後尾が見えないほどで人気の高さが窺えました。瑞穂ふ頭は米陸軍基地の敷地内にある、入場時に自衛隊と米軍によるボディチェックと手荷物検査がありました。そこからシャトルバスに乗り私達が乗艦する護衛艦「まつゆき」の処まで運ばれます。間近で護衛艦を見ると海自HPで仕入れた予備知識とは全く別次元の、まさに戦争の道具の迫力というか凄みを感じます。出航までに艦内を探索し、休憩所やトイレを確認し艦橋に上がったり各種装備を間近に見たりしている間に8時20分に出航となりました。雨も上がり自衛官のきびきびした動きや音楽隊の演奏に見送られ、まるで「出撃」するような高揚感に包まれます。ベイブリッジをくぐり浦賀水道を抜けて相模沖を目指します。「まつゆき」には530名の招待者が乗っており、自衛官と話をしたり写真を撮ったりしながら

ら過ごしています。艦内の食堂も休憩所となっており、そこでは自衛隊関連DVDを見ることも出来ました。観艦式海域に到着するまで3時間ほどかかるため「まつゆき」に搭載されている武器の作動展示も行われました。76ミリ速射砲や高性能機関砲、対潜・対空ミサイルなどをすべてコンピュータ制御されており、作動の早さやスムーズさには目をみはるものがあります。ほかにもサイドホルンやラッパの吹奏、手旗信号や消防装備の早着替えなどをして招待者を退屈させないようにとの心配りを感じます。どの自衛官も対応は親切で大変気持ちのよい時間が過ごせるようになっていきます。

観艦式海域に近づく頃には天気も回復し、明るい日差しの下、横浜・横須賀・木更津から出航した艦艇が集結し始めました。11時過ぎに観艦艦に安倍首相がヘリコプターで到着し、しばらくして観艦式が始まりました。観艦式は安倍首相が乗る「くらま(写真上)」を中心とした7隻からなる観閲部隊と私達が乗る「まつゆき」を含む7隻からなる観艦隊30隻あまりからなる観

閲を受ける受閲部隊で行われます。受閲部隊は観艦隊とすれ違う際には艦船の最高礼式である舷側に整列し敬礼する登艦礼を行った後、実演を行う訓練展示を行います。今回は午前中の悪天候の影響で航空機部隊の観閲が中止となつてしまいましたが、受閲部隊による5インチ砲の祝砲発射、対潜爆雷(ボフォース)の発射、ヘリの発艦、潜水艦の潜航・浮上など多種多様な艦艇と訓練展示を見ることが出来ました。これだけの数の護衛艦が集結する様は威風堂々という言葉がぴったりの大変頼もしく思えるものでした。その後、安倍首相の訓辞があり観艦式は終了しました。

あとは横浜に帰投するだけなのですが、帰日も午前中同様にアトラクションがあり、「まつゆき」の艦番130にちなみ130番目の乗艦者に記念品の贈呈が行われたりしました。日差しは暖かく風は爽やかでつい甲板で寝てしまおうくらい気持ちのよい帰り道でした。横浜瑞穂ふ頭に上陸したのはとつぷり日の暮れた5時半、約9時間海上にいた計算になります。護衛艦に初めて乗って驚いたのは艦体にさび一つ無く整備・手入れが行き届いていることと航行中に軋み音が全くしない剛性感の高さ、そして各種武器の動きの早さ・滑らかさでした。戦争に使う武器の凄さの一端を垣間見ることが出来て、実際に使用せずにすむ平和な世の中が続くことを心から願う気持ちになりました。

(園学部 園科補綴学分野)



ふるさと紀行

— だんじり蘊蓄 —

都尾元宣

私のふるさと河内長野市は大阪の南東部に位置し、東に奈良県、南に和歌山県と接する大阪府で3番目に面積の大きい市です。古くから空海(弘法大師)が開いた真言宗の総本山、高野山への宿場町として栄えたところ。また、建武の新政の時代、後醍醐帝に仕えた悪党の楠木正成が郷土の英雄です。また、その旗印「非理法権天」(非は理に勝たず、理は法に勝たず、法は権に勝たず、権は天に勝たず)は、町で何かある毎に菊水の御紋と共に飾り付けられます。

この町の、一大イベントが秋祭りです。摂津、河内、泉州では、江戸時代の頃より白木作りの山車を「だんじり」と称して町を曳行します。このだんじりは、大きくわけて、「上だんじり」というものと「下だんじり」というものに分かれるそうです。

細かく分けると、「岸和田型」「住吉型」「岸和田型」「大佐型」など細かく分かれるようですが、テレビなどで見ることのある岸和田祭りのだんじりは、下だんじりという「岸和田型」のだんじりのことです。特徴としてはだんじりの下半分に非常にたくさん彫り物があり、重さ感あふれる造りになることが多いようです。実際のところ、この型のだんじりは重心が下のほうにあり、「やりまわし」を行いやすい構造になっていきます。一方の上だんじりは、主に堺やその周辺、以北の地域で多く曳かれているだんじりです。特徴は、だんじり後部、小屋根と呼ばれる部分の下の彫り物が三枚板と呼ばれ、その内側には人が入れるような造りになっているという、下だんじりに比べ大屋根が小振りな棟と軒の高低差が大きく、広い

平らな屋根の下だんじりでは大工方が団扇を両手に跳ねますが、上だんじりでは旗を振るだけではね回りません。また、上だんじりは金飾り部品が多く下半分の彫り物が少ないという特徴があります。そのため、重心が高くなり横転しやすくなるため屋根に綱を張って防止します。しかし、見た目で一番わかりやすいのは、下だんじりにはやりまわしに必需品の前艇子がありますが、上だんじりには無くだんじりを囲む棹というのが付いています。

しかし、最近の流行は折衷型と呼ばれるだんじりで。つまり、下だんじりの重量感あふれる作りに、上だんじりの屋根と棹を付けた形です。河内長野のだん

私の町内のだんじり



菊水の御紋と非理法権天



夜のパレード



ぶん回し



子屋根の彫刻(塀型)



子屋根の彫刻(折衷型・大阪夏の陣)